



NITOBÉ
COLLEGE



新渡戸カレッジフェロー

新渡戸カレッジでは、国内外で活躍してきた
同窓生(フェロー)が学生に長年の経験を通して
培われた知見や考え方等を伝授します。

新渡戸カレッジフェローとは？

国内外の様々な分野でパイオニアやリーダーとして活躍している同窓生のうち、同窓会等の推薦を受けて「**新渡戸カレッジフェロー**」となった方々です。フェローは、新渡戸カレッジ1～2年生のグループの担任として、そして3～4年生の**メンター**としてカレッジ生を優しく見守り、その成長を助けます。また、講演やパネルディスカッション、合宿等を通してその知見と経験を学生に伝えつつ、グローバル社会で活躍できる人間の育成を支援します。





1～2年生の活動

グループ活動

新渡戸生は、カレッジ生10数名からなるグループの中で1年間、**グループ・ミーティング**や**グループのつどい**等の活動を通してグループメンバーやフェローと交流を深め、様々な考え方や意見に触れます。2年生になるとグループが再編成されます。

3～4年生の活動

メンタリング

3～4年生は、フェローによる**メンタリング**も受けることができます。



その他の活動

グループ活動以外にも、フェローによる**講演**(年5回)、**パネルディスカッション**(年2回)、**学内合宿**(年2回)等があります。

新渡戸カレッジ第一期生の声

水産学部2年
夏目 拓希

一般人では、まずお会い出来ないような海外で活躍されているフェローの方々とは人数または一対一で話すことができるという非常に有意義な機会を持ってました。

工学部2年
重井 真琴

フェローは社会人と関わる機会が少ない私達にとって、人生の良き相談相手であり、1人の先輩として近い距離感で話せるので、とても頼りになる存在です。はじめからフェローそれぞれの仕事内容についてより詳しく知ることができたら、自分のグループ担当以外のフェローとも積極的に話せると思います。これから学年が上がるにつれ、相談にのっていただきたいことも増えると思うので、フェロー制度を有効に活用していきたいです。

医学部2年
四宮万里絵

私はグローバル人材になるという目標に憧れて入校しました。夏休みにはインターンシップで他大の3年生とディスカッションをしたり、日高自然の家の合宿でディベートをしたりと貴重な体験をしました。講演会でのフェローのお話は、国際人の姿をイメージしやすくとても励みになっています。授業にはall Englishのものもあり、英語がより身近に感じられるようになりました。次年度にはぜひ留学プログラムに参加して視野を広げたいです。

水産学部2年
木村 まい

私が所属するAグループのフェローは元キリンヨーロッパ会長の松沢さんでした。私は松沢さんの講演会に参加させていただき、リーダーシップや向学心について学びました。一方で、フェローミーティングでは、松沢さんが私たち学生の考えや質問に親身になって耳を傾けてくださった姿が印象的でした。半年間、講演会を通して様々なグループのフェローの方のお話を聞き、大学の講義では得る事の出来ない知識を得られたと思います。

理学部2年
小山田 伸明

幸か不幸か新渡戸カレッジは、入れば自動的に力がつくという面白い制度ではありません。如何にフェロー制度を活用するのか如何に自分のスキルをあげるのかそれを自分で考える気概が無い限り何も得られないからです。別の言い方をすればカレッジ生には能力ではなく志が試されます。新渡戸稲造に負けてられないと思う方には是非入ることをおすすめします。

新渡戸カレッジフェローからのメッセージ

松沢 幸一

1973年
農学研究科
修士課程修了

北大新入生へのメッセージ

入学したばかりの皆さんには、新しいことにチャレンジしようという熱い想いが満ちていると思います。皆さんが目指す分野で勉学を積み、大きく成長されることを願っています。一方、これから皆さんはグローバル化した世界・時代を生きていくこととなります。そのための精神・知識・スキルが必要になります。幸い北大には新渡戸カレッジという優れたプログラムがあります。修了までには時間と努力が必要ですが、ここで得られることは必ず皆さんの成長の糧になります。私たちが全力で支援します。是非、新渡戸カレッジでチャレンジして下さい。

グローバルで活躍する人材になろう！

これからの時代は、どんな職業にあっても国際人としての見識やスキルが必要になるでしょう。言い換えればもはや外国人とコミュニケーションやコラボレーションができないことが、その人のキャリアの選択肢を狭めてしまうことになる時代とも言えます。大学時代に専門分野を極めるとともに、国際人として活躍するために必要な能力を身に付け、グローバル人材として社会で活躍することを目指しませんか？

志済 聡子

1986年
法学部卒業

井上 修平

1975年
工学部卒業

北大新入生へのメッセージ

北大を卒業してから殆どの年月を、海外ビジネスに携わってきました。地球上の経済活動は、もはやボーダレス時代になっていると言えます。そんな世界に向かって大きく扉を開けて、広い市場で思う存分活躍する。限り無い可能性への若き挑戦者として、その第一歩を学生時代に歩み始める事、それが「新渡戸カレッジ」だと思います。フェローとして自らの経験をお話します。熱く夢を語りあいましょう。

北大新入生へのメッセージ

企業のグローバル化、マーケットのボーダレス化は今後益々進んで行くと考えられています。これに伴い、グローバルに活躍できるリーダーの重要性も、増してきています。グローバルに活躍できるリーダーとは？どんな能力が必要とされるのか？学生の今何をなすべきか？新渡戸カレッジで、共に考えましょう。

上田 英樹

1988年
教育学部卒業

杉江 和男

1970年
工学研究科
修士課程修了

北大新入生へのメッセージ

社会は、創造力を持ち協働できる自立した人材が、世界を舞台に活躍する事を求めています。志の有る北大生であれば、難しいことはありません。2013年度カレッジ生は勉強やバイトで忙しい中、授業では得られない経験を得て大きく成長したと誰もが認めています。貴方や貴女もチャレンジしてみませんか？

北大新入生へのメッセージ

北大生になった皆さんは、いずれ就職か大学院かの進路選択に直面します。その際、避けることが出来ないのがグローバル化の視点です。新渡戸カレッジでは同窓の先輩が、自らの経験をチャレンジ意欲のある皆さんと共有し、一緒に考えます。カレッジでの学習や体験は、グローバル化した世界で皆さんが進路選択する際に必ずや考えるヒントになるでしょう。

村上 幸夫

1973年
理学部卒業

北村 倫夫

1981年
経済学部卒業

新渡戸カレッジ入校を考えるみなさんへ

空を飛んでいる姿は同じでも、グライダーと飛行機では能力が全く異なる。自分でものごとを発明・発見できる力、自分で問題をつくり解決できる力、さらには自分で必要な知識・技能を獲得できる力。こうした能力を身につけ、自分で空を“飛べる”のが「飛行機人間」。新渡戸カレッジ及び私たちフェローは、世界の中で自由自在に生きていける飛行機能力の獲得を全力で支援します。皆さんに、是非とも「飛行機人間」になって、世界へ飛び立ってほしいからです。

大塚 榮子

1963年
薬学研究科
博士課程修了

北大新入生へのメッセージ

北海道大学という恵まれた環境で勉強できるメリットを生かして世界中の様々な宗教、思想、歴史などの一般教養を身につけるために学生時代には出来るだけ本を読んで知識を増やし、感性を養ってほしいと思います。グローバルな活躍をめざすなら新聞も読んでほしいです。多様性を容認して、女性が働く事のできる世の中、紛争のない世界の構築に貢献できる人になるよう期待しています。

新渡戸カレッジ入校を考えるみなさんへ

フェローも昔はみなさんと同じ北大生でした。みなさんが悩み、夢見ていたのと同じようにフェローも悩み、夢見ていたのです。みなさんの悩みや夢を、同じ北大で青春を過ごした仲間としてフェローにぶつけて見てください。先輩としてきっと何かヒントになる話をしてくれるはずですよ。新渡戸カレッジでみなさんの未来をつかまえてください。

柴田 哲史

1985年
工学部卒業

鈴木 明子

1955年
教育学部卒業

人生の実験劇場にいて

人生ほど面白い場はない。女性は女優の生涯を演じ、自分で脚本を書き、演じ、批評を受ける。意志を貫き人脈を築けば、ローカル劇場がグローバルに変わる。日本から米国へ3大学で学生を過ごす客員教授で招かれる。普通に英語を話して8科目を担当した。専門職となれば、地球上どこへも行ける。治し、教え、助言し、国の制度に提案する。幸せと平和を運ぶ使者として。

大学のかげがえのない資産：フェロー制度

北大は「**フロンティア精神**」「**国際性の涵養**」「**全人教育**」「**実学の重視**」を基本理念に掲げ、国内外の様々な分野においてパイオニアを輩出してきました。新渡戸カレッジの「**フェロー制度**」は、こうした同窓生等の力をカレッジ生の教育に活用し、国際社会の発展に資する人材の育成につなげようという、北大固有の取組みです。

欧米では、大学のステータスを向上させるために、大学の資産として、同窓生が早くから大事にされています。同窓会組織と大学が連携し、双方に大きなメリットをもたらしています。

国内では、慶応義塾大学同窓会(三田会)や一橋大学同窓会(如水会)等の一部の大学の同窓会が在学生の教育に携わっていますが、我が国の大学における教育の質の向上を図る上で、同窓会等は今後一層重要となってきます。